

防災問題

問 地域防災計画の加筆・訂正を

答 修正を図り、防災の広報に努める



小林 英雄 議員

【地震対策について】

問

平成14年の長野県地震対策基礎調査報告書では、糸魚川―静岡構造線北部

地震が起きた場合、村では最大で震度7の大地震となることとが予測されているが、白馬村地域防災計画は10年以上前に策定されたものであり、最新の情報により加筆・訂正すべきではないか。

村長

防災計画は平成17年以降、修正しておりません。今回の大震災を契機に国・県の防災計画修正が予想されますが、これらとの整合性を図るべく修正したいと思えます。

問

大地震では建物の耐震性が重要。無料耐震診断制度と、それに基づく耐震改修事業の利用状況は。また、避難所は耐震基準を満たしているか。

村長

耐震診断・耐震改修事業ですが、平成16年度から木造住宅を対象にして行っています。耐震診断は無料、耐震改修は60万円を限度として工事費の2分の1を補助しています。対象住宅は、昭和56年5月31日以前に、旧耐震基準の下で建築された住宅に限られます。

これまでに87棟の住宅が耐震診断を受けており、「倒壊する可能性がある」「および「倒壊する可能性が高い」と判定された住宅は、それぞれ10棟と37棟でした。

避難所の耐震診断は平成19年度から行っており、対象施設13棟のうち12棟で完了し、

問

唯一鉄筋コンクリート造である八方文化会館が「倒壊する危険性が低い」と判定された以外は、「倒壊する可能性が高い」または「倒壊する可能性がある」との判定でした。本年度で耐震診断は完了します。

村長

長野県大規模災害ラジオ放送協議会発行の「防災ハンドブック」を参考にし、村の独自情報を盛り込んだ掲示物を作成し、防災の日配布することを提案。また、福祉避難所の具体化を要望するが、

村長

防災に関する広報の要望ですが、平成21年に災害時地区別避難所一覧を全戸配布しております。また、同時期に広報はくばで「災害に備える」と題して防災特集を組んでいます。これらをベースに、長野県大規模災害ラジオ放送協議会発行の「防災ハンドブック」も参考にし

ながら、各家庭で掲示いただくような印刷物の作成・配布を検討します。

福祉避難所ですが、福祉避難所の早期指定をめざします。

現在のところ、福祉避難所として考えられるのは、ふれあいセンターくらいしかありません。



増水した平川（白馬オリンピック大橋） 6月26日